

令和 3 年度

# 決 算 報 告 書

第 18 期事業年度

自 令和 3 年 4 月 1 日

至 令和 4 年 3 月 31 日

国立大学法人 高知大学

## 令和3年度 決算報告書

国立大学法人高知大学  
(単位：百万円)

区 分	予算額 (年度計画)	決算額	差額 (決算－予算)	備考
<b>収 入</b>				
運営費交付金	10,264	10,686	422	(注1)
施設整備費補助金	1,177	1,130	△ 47	(注2)
補助金等収入	772	1,709	938	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	32	32	0	
自己収入	22,302	23,382	1,080	
授業料、入学料及び検定料収入	2,935	2,928	△ 7	
附属病院収入	18,942	19,681	739	(注4)
財産処分収入	-	70	70	(注5)
雑収入	425	703	278	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	1,640	1,401	△ 239	(注7)
引当金取崩	221	231	11	
長期借入金収入	764	493	△ 271	(注8)
目的積立金取崩	121	63	△ 58	(注9)
計	37,293	39,128	1,834	
<b>支 出</b>				
業 務 費	32,184	31,705	△ 479	(注10)
教育研究経費	13,541	13,349	△ 192	
診療経費	18,642	18,356	△ 287	
施設整備費	1,973	1,655	△ 318	(注11)
補助金等	525	1,454	929	(注12)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	1,640	1,316	△ 324	(注13)
貸付金	-	-	-	
長期借入金償還金	971	965	△ 6	
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	-	35	35	
計	37,293	37,130	△ 163	
収入－支出	-	1,998	1,998	

(注) 記載金額については、百万円未満を四捨五入して表示しています。

- (注1) 運営費交付金については、予算段階では予定していなかった特殊要因経費等が措置されたことにより、予算額に比して決算額が422百万円多額となっています。
- (注2) 施設整備費補助金については、予定していた事業の一部が繰越となったことにより、予算額に比して決算額が47百万円少額となっています。
- (注3) 補助金等収入については、予算段階で予定していなかった新型コロナウイルス感染症対策等の補助金が交付されたことにより、予算額に比して決算額が938百万円多額となっています。なお、授業料等減免費交付金255百万円が含まれており、本補助金は授業料等免除に使用しています。
- (注4) 附属病院収入については、外来患者数の増加に伴う外来診療収入の増加等により、予算額に比して決算額が739百万円多額となっています。
- (注5) 財産処分収入については、旧学長宿舎（高知市桜馬場58）を売却したことにより70百万円多額となっています。
- (注6) 雑収入については、財産貸付料等の収入増加等により、予算額に比して決算額が278百万円多額となっています。
- (注7) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、新型コロナウイルス感染症の影響により寄附金収入が減少したこと等により、予算額に比して決算額が239百万円少額となっています。なお、前年度以前における繰越額を今年度に支出した49百万円を含めて計上しています。
- (注8) 長期借入金収入については、予定していた事業の一部が繰越となったことにより、予算額に比して決算額が271百万円少額となっています。
- (注9) 目的積立金取崩については、予算段階では予定していた取崩を行わなかったため、予算額に比して決算額が58百万円少額となっています。
- (注10) 業務費については、経費の削減に努めたこと等により予算額に比して決算額が49百万円少額となっています。
- (注11) 施設整備費については、(注2)及び(注8)の理由により、予算額に比して決算額が318百万円少額となっています。
- (注12) 補助金等については、(注3)の理由により、予算額に比して決算額が929百万円多額となっています。
- (注13) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、(注7)の理由及び一部の事業を翌年度に繰り越したことにより、予算に比して決算額が324百万円少額となっています。なお、前年度以前における繰越額を今年度に支出した49百万円を含めて計上しています。